

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	サービス創造学部	職名	教授	氏名	池田武俊
研究課題	サービス産業におけるイノベーションと人材に関する研究				
研究キーワード	サービス産業、イノベーション、人的資源、経営戦略	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

本研究は、サービス産業におけるイノベーションとそれを担う人材の能力開発のあり方、それを効果的に行うためのマネジメントについて解明することを目的にしている。

ここ数年のコロナ禍は日本企業にとって大きな影響を及ぼしている。とりわけ本研究の対象であるサービス産業においては、その影響が著しい。その影響は休業や業務縮小による採用抑制、人員削減というかたちで顕在化している。すなわち、コロナ禍は企業の人材育成、能力開発にも影響を与えられ。各企業の独自性にかかわる能力は、企業特長的な能力をもつ人材は投資されて育成されなければならない。こうした投資を受け能力を獲得した人材こそが企業のイノベーション創出の根幹である。そのような人的資源への投資が抑制的になり、その影響が企業の競争力そのものに影響する可能性が高い。

こうした投資がコロナ禍でどのように影響を受けているのかは、リーマンショックなど過去の事例と比較検討しながらその影響、課題について検証を進める必要がある課題である。人材の問題は、過去の事例が示すように直後の影響だけでなく社内スキルなど形成にかかわる問題などで中長期に影響が及ぶ。そのため、単年にとどまらず、継続的な観察を必要とする。

コロナ禍の数年を経て、行政機関、JILPT などからもコロナ禍と雇用に関連する各種の資料も発表されるようになってきた。こうした研究も参照しつつ、工業経営時代に蓄積されてきたイノベーション研究に依拠しながら、競争優位の創出に資するようなイノベーション人材の育成という観点からの研究を続けていく。

これらの研究成果をもとに、一連の研究のさらなる深耕を目指す。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

一連の研究に基づき、令和 4 年 10 月 27 日に開催された全国中小企業団体中央会の「令和 4 年度部課長等管理者研修」に講師として参加した。

3. 主な経費

研究上必要な書籍、学会費の支出、消耗品の購入に使用した

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

なし

(本文は2ページ以内にまとめること)